

令和5年6月発行版

幼稚園・認定こども園



はじめまして



P2へ

楽しい遊びや

体験がいろいろ。



幼稚園でも
働きながら
通えるの？



横浜市幼稚園協会のホームページ

<https://kids-yokohama.or.jp/>



神奈川県子ども・子育て総合情報サイト「かながわ」

<https://c.rakuraku.or.jp/>



横浜市（幼児教育関連）のホームページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/yochien/>



公益社団法人 横浜市幼稚園協会



幼稚園・認定こども園とは どんなところ？

初めての集団生活

子どもが初めて保護者から離れて、集団生活をする場、それが幼稚園・認定こども園です。幼稚園・認定こども園には当然ルールもありますが、おもちゃなどを介してお友だちとのぶつかり合いやケンカなども起こります。一方で、家庭だけでは味わうことのできない、魅力的な体験も沢山できます。

小学校以降の生涯にわたる社会性・人間形成の基礎を培うための大切な教育の場、それが幼稚園・認定こども園なのです。

遊びから学ぶ

園での生活の中心は遊びです。同年齢児や異年齢児との遊びを通して友だち関係を育てたり、物事に興味をもつ環境を構成することで、社会性や自主性など子どもの成長にとって大切な能力や資質が身に付きます。

また、園の指導内容は子どもたちが楽しく活動しながら、無理なくより良い成長・発達を促すように組み立てられ、先生は一人ひとりの子どもに対応できる柔軟な指導案(カリキュラム)を作成しています。

適切な指導のために

子どもの個性はそれぞれ違ってきます。一人ひとりの個性を尊重し、伸ばすことができるように、先生は個々の子どもの個性を把握し、見守ったり支援したりしながら適切な指導を行っています。そのためには、ご家庭との連携も大切になります。お子さんの成長を共に喜び合い、適切な時期に次のステップに踏み出せるよう伝え合える場です。そして、広い視野と温かい目で見守りながら、子どもたちの成長を育んでいきます。

出会いの場

子どもたちは、新しい園生活の場で保護者以外の信頼できる大人としての先生との出会い、多くの友だちとの出会い、大好きな遊びや絵本との出会いなど、たくさんの経験を積み重ねます。同時に保護者の皆様方も園での様々な活動や人とのふれあいの中で、人間関係が豊かになったり、自分の子育てを振り返ってみたりすることができます。地域とのつながりを深め、我が子だけでなく大勢の子どもたちを見守るネットワークづくりに参加してみませんか。

楽しい遊び・体験がいっぱい。



入園の日



野菜作り



移動動物園



水遊び



交通安全指導



夕涼み会



木のぼり



お遊戯会



クリスマス



お芋ほり



もちつき



運動会

登園

先生おはよう
ございます♪

園での生活

子どもたちは園で様々な経験を積み重ね、成長していきます。
時間帯、保育内容は園によって様々です。

絵本 紙芝居

どんな
お話かな？

室内遊び

しゅっぱつ
しんこう!!

朝の会

みんなのうたで
始まります。

絵画 制作

なにつくろう♪ なにかこう♪

外遊び

園庭はワクワクが
いっぱい。

お弁当 給食

待ちに待ったお昼ご飯。
みんな揃って
「いただきまーす!」

手洗いうがい

きれいに
しなきゃ。

避難訓練

定期的
に行います。

お誕生会

みんなに
お祝いして
もらえるね。

帰りの会

楽しかったね。
明日はなにを
しようかな？

降園

先生
さようなら。

横浜市においては、
多様な保育ニーズに
対応するために

通常の保育時間を除いた
7:30～18:30まで

お子さんを無償で
預かる制度が
あります。

横浜市 預かり保育

わくわく! はまタイム

横浜市型を
行わない園でも、
独自の預かり保育を
行っている場合があります。

詳細については
各園にお問い合わせ
ください。

7:30 → 9:00 → 14:00 → 18:30

登
園

預
か
り
保
育

園
の
活
動

預
か
り
保
育

降
園

おやつを食べる
こともあります。

預かり保育を実施している園を探そう!

横浜市のページなので
加盟外の園も含まれています。

異年齢で
関わっています。





施設のタイプ	私学助成園 幼稚園	幼稚園	施設型給付園 幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園
対象年齢	3歳～就学前（園によっては満3歳から）			0歳～就学前
入園見学会・説明会	<ul style="list-style-type: none"> 入園に向けて各園で入園説明会を行います。 詳しくは、園にお問い合わせください。 それぞれの園で時期や方法が違います。 入園見学会は随時行っている園もあります。 			
手続きの流れ	<ul style="list-style-type: none"> 各園で入園願書を配布 10月15日より ↓ 園に入園願書を提出 11月1日より 		<ul style="list-style-type: none"> ● 教育利用の場合 ● 各園で入園願書を配布 10月15日より ↓ 園に入園願書を提出 11月1日より ● 保育利用の場合 ● 保育所等利用案内を配布 10月中旬を予定 (区役所や該当する園で受け取れます) ↓ 区役所に申請書類を提出 10月中旬～11月初旬を予定 	

令和6年度の
入園対象児

クラス（実施年齢）	生年月日
0歳児	令和5年（2023年）4月2日～
1歳児	令和4年（2022年）4月2日～令和5年（2023年）4月1日～
2歳児	令和3年（2021年）4月2日～令和4年（2022年）4月1日～
満3歳児	令和3年（2021年）4月2日～令和4年（2022年）4月1日～
3歳児	令和2年（2020年）4月2日～令和3年（2021年）4月1日～
4歳児	平成31年（2019年）4月2日～令和2年（2020年）4月1日～
5歳児	平成30年（2018年）4月2日～平成31年（2019年）4月1日～

幼稚園・認定こども園等を利用する3～5歳児クラス等の 子どもの利用料は、「幼児教育・保育の無償化」の対象です。

ただし、各園の設定する、教材費、施設整備費、通園バス費、給食費等を別途ご負担いただく場合がありますので、詳細は必ず各園におたずねください。

幼稚園・
認定こども園等

- ◆ 3歳児クラスから5歳児クラスの全ての子どもの利用料が無償化
- ◆ 0歳児クラスから2歳児クラスの子どもは、市民税非課税世帯が無償化

- 私学助成幼稚園については、月額25,700円まで無償となります。
- 幼稚園・認定こども園の教育部分については、満3歳から無償化の対象となります。
- 利用料のほかに給食費がある場合、年収360万円未満相当世帯の子どもと第3子（※）の子どもについては、副食費（おかず、おやつ等の費用）の免除または一部補助が受けられます。

※幼稚園・認定こども園（教育利用）は小学校3年生、認可保育所・認定こども園（保育利用）は就学前児童から数えて第3子以降の子ども



幼稚園・
認定こども園の
預かり保育

- ◆ 保育の必要性を認定された、3歳児クラスから5歳児クラスまでの
子どもの利用料が、月額11,300円まで無償化（※）

- 利用日数に応じて1日あたり450円、月額11,300円を上限に無償化
- 満3歳（3歳になった日から次の3月31日まで）の市民税非課税世帯は、月額16,300円まで無償化

※横浜市私立幼稚園等預かり保育事業（横浜市型預かり保育）の利用料は、3歳児クラスから5歳児クラスまでは無料、満3歳児は0円～9,000円です。



幼稚園でも働きながら通えるの？

昨今、ご家庭の働き方や生活形態は多様化しています。各園では様々な生活形態に対応できるよう、工夫しています。

おうちの方のスケジュール

● 共働きフルタイム勤務 Aさんの場合

8:00 徒歩登園（預かり保育）→ 8:45～17:30 仕事（現在は基本在宅、残業あり）→ 17:50 園までお迎え。

仕事の関係で、
なってしまうことも。



● 時短勤務 Bさんの場合

8:00 バス停まで送り出し → 9:00～16:00 テレワーク → 17:00 園までお迎え。

会社へ通勤するときは
9:30～15:30 働いています！

● 専業主婦 Cさんの場合

8:30 自転車で送り → 9:00～13:30 家事・買い物・趣味 etc… → 14:00 自転車でお迎え。

下の子と公園に行くなど、ゆったり
した時間を過ごさせています。

入園を決めたポイントは何ですか？

- ・家から近い（通わせやすい）。 ・給食が充実している。
- ・農園があり収穫体験が多くある。 ・入園前のプレ保育が充実。
- ・防犯や園バスのチェック体制がしっかりしていて安心。
- ・遊びを多く取り入れたカリキュラムが魅力的だったのと、課外活動が豊富なところ。
- ・クラスあたりの人数が多過ぎず丁度良いと思った。
- ・園庭が広い。 ・園舎がきれい。
- ・区役所の保育・教育コンシェルジュの方にオススメをされたのをきっかけで選びました。
- ・先生主導ではなく、子どもが自分の意志で考え、活動できる園がよかったため。
- ・先生方の明るい笑顔や挨拶が嬉しく親しみが湧いたため。
- ・勤続年数の長い先生がたくさんいらっしゃるのも安心。
- ・3月生まれなので、3歳になってすぐに入園が不安でしたが、未就園児クラスを検討していた時、「何も出来ない息子が通えるか」不安であることを相談させていただきました。そうすると担当の先生から安心できる言葉をかけていただき、入園する決め手となりました。



入園前に不安に思っていたことはありましたか？

- ・保育所からの転園だったため、保育時間が短くなることが不安でした。

預かり保育を利用できるので、保育所の頃と同じように、働いています。

今、その不安についてはどのように
思いますか？

- ・幼稚園から認定こども園になった園は、幼稚園の考えが母体ということは伺っていたので、他のお母さんたちとの関係性や運営が幼稚園寄り働きながらだと大変なのでは？と思っていました。

働いているからといって、特に他のお母さんとの関係性も問題なく、充実した園生活を過ごさせています。

- ・子どもと一緒にいる時間が減り、寂しい思いをさせてしまうのではないかと。

園の先生方が日々きめ細やかに、愛情をもって接してくださるので、毎日楽しく登園できていると感じています。

- ・幼稚園ってママ友とのトラブルってあるのか…？

ママ友とのトラブルなんて全くなく、優しい保護者の方ばかりで仲の良いママ友もたくさんできました。

- ・仕事と行事の両立ができるか（行事が多かったのでは）

親が参加しなくてもよい行事が多く、親参加の行事は年数回程度なので仕事との両立ができた。普段の保育時間で、季節を感じられる工作やイベントをしてくださっていて、仕事で子どもと関わる時間が短い家族にとってはとてもありがたいです。





友だちと仲良くできるか 心配です



A 園は、それぞれ異なった家庭環境で育ち、性格も違う子どもたちがたくさん集まって過ごす集団の場です。そこには当然、集団生活を送るために必要なルールが生まれてきます。

友だちとの関わりにおいては、自分の思いを十分に発揮して、ぶつかり合いながらも他者を理解しようとする時期でもあります。

しかし、集団生活に入っただけの子どもたちは、まだまだ「自分だけ」という考えが強く、友だちと上手に遊ぶことができない姿もよく見られます。

友だちを独占したい気持ちが強いために他の友だちを受け入れられない子、おもちゃの貸し借りができずに強引にとってしまう子、順番が守れずに遊具を独り占めしてしまう子、言葉がうまく言えずに顔や手をつかんで意思表示

をする子、なかには、一緒に遊びたいのに「遊ぼう」と言えずに中に入れない子もいます。

先生は、個々の子どもたちの様子をよく観察しながら、時を逃さずに声をかけます。そして、当事者同士の話をよく聞き、お互いが納得するまで根気強く指導していきます。ときには、どうしたら友だちと楽しく仲良く遊べるか、子どもたちに問いかけることもあります。

このようなもめごとの原因は、人とのつき合い方が分からずに起きる一時的なものです。また、

このような場面に出会うと「いじめられた」と泣いて訴えてくることもあります。それは社会性が身につく過程の一場面であり、いわゆる「いじめ」とは質が全く異なるものです。

子どもたちは、集団生活に馴染んでいくうちに、良いことや悪いことの判断が身につくようになり、友だちと仲良く遊べるようになります。また、相手の気持ちを理解し、思いやる気持ちも芽生えてきます。そんな子どもの成長過程を、おおらかな気持ちで見守ってください。



食物アレルギーがあり 食事の時間が心配です



A 食物アレルギーのあるお子さんをお持ちの方にとって心配なのは、園での食事です。園によっては給食の園、持参弁当の園と様々です。他にも預かり保育の時のおやつや、食育の一環からクッキング活動を行うなど、実際に食べ物をお口にする機会があります。

給食の園の場合、お子さんの該当するアレルギー食品について、どの程度の配慮をお願いできるのか確認が必要です。お子さんによって、配慮の程度も様々なので、具体的に園にお伝えください。

お弁当と給食、どちらの形態でも注意が必要なのが、そのアレルギー食品に、触れるだけで反応が

でるお子さんのケースです。本人が食べる分からアレルギー食品が除去されていても、周りの友だちの手や口を介して接触する可能性があります。食事の際の席の配置や、担任に近くに座ってもらうなど、担任と密に連絡を取り、具体的な対応を相談すると安心です。

園での食事は、集団で食べる事により、楽しい雰囲気を感じ、友だちの食事の様子から苦手な物

も食べてみようという意欲につながるなど、家庭とはまた違う環境があります。どちらの良さも、お子さんの成長に必要な食環境です。アレルギーの有る無しに関わらず、楽しんで意欲的に食事ができるようにしたいです。先生たちも保護者の方の不安を受け止め、楽しく食事ができるよう、日々、気を付けて保育にあたっています。心配な点はどうぞ、ご相談ください。



幼稚園は保護者にとって 負担が多くありませんか



A 小学校に入るまで、子どもを幼稚園・認定こども園に入れたと考える保護者は多いと聞きます。その一方で、園は生活の負担になるのではないかと、不安に思う保護者も少なくないとも聞きます。例を挙げると……

保護者が園に頻繁に行く。入園までのつくりものが面倒。文字や英語の勉強があるがついていけるか…。遊んでばかりいるが大丈夫かな…。保護者の付き合いが多いのが不安。役員の活動が面倒そう。

幼稚園・認定こども園ではいろいろな不安に対応して、園での活動の理由を説明し、運営方法も工夫して安心できるように努めています。

横浜市内すべての園が私立で、どの園も「建学の理念」を持っていて、特色のある園になっています。

入園して保護者の会に出て話をすると、同じような境遇の多くの方々と出会い、色々な発見や、先生からの助言が得られて、解決へ向かうことができます。お弁

当に関わる心配事も、既に多くの先輩たちが経験しているので、具体的な説明をしてもらえ、解決のヒントが得られます。子どもの癖や育ちについても、子育てに一区切りついた先生もいて、先輩として先生として、共感するアドバイスを受けることも多いと思います。園での生活を通じて、自分の子どもを見る目が育ち、子どもの成長について日々発見することがあります。

幼稚園・認定こども園について、分からないことや不安を感じた時には、入園希望の園とよく相談してください。どれも皆が悩

むことですので、現実的な提案があって、必ず解決ができます。また運動会などの公開されている行事に参観してください。自分の子どもに合った園を選ぶことができますし、在園期間に育ってゆく姿を想像できて楽しみも見えてきます。もし入園後に難しく感じる事があれば、直接担任や園長に相談してください。先輩保護者と園はこのように、ともに歩んできました。ご安心ください。



子育ては園と家庭との連携で



園の願いと家庭の願いは同じ

保護者が我が子に願うことも、園が願うことも「子どもたちが、健康で心豊かに育ち、友だちと仲良く遊び、感性豊かな人間になってほしい」ということではないでしょうか。

子育ては楽しいものです。

しかし、うまくいかないことがあると、時には心身共に疲れてしまうこともあります。そんな時は、子どもを中心に考え、子どもの発達の筋道をよく知っている園の先生に相談をしてみましょう。家庭での様子を伝えたり、園での子どもの生活や遊びを見たりしていく中に、問題の解決の糸口が見つかることもあります。

ます。家庭と園がお互いに理解と信頼を深めながら、子どもの成長を見守っていくことが大切です。

それぞれの役割

幼児期の教育は、大きく分けて、家庭と園で行われますが、園と家庭とは環境や人間関係の有様に応じて、それぞれの果たす役割が異なります。

家庭は愛情としつけを通して、幼児期の成長でもっとも基礎となる心の基盤を形成する場です。

- ・ 早寝早起きと十分な睡眠
- ・ 規則正しく、豊かで楽しい食事
- ・ しっかり身体を動かす生活
- ・ しっかり手を使う生活

以上の四点を考え、子どもの生活の基盤を整えてあげましょう。

幼稚園・認定こども園は、親しい人間関係で営まれてきた家庭という場から、より広い世界

に目を向け始めた幼児が家庭ではできない体験をする中で、文化にふれ先生に支えられながら幼児期なりの世界の豊かさに初めて出会う場です。そのため、初めての集団生活で自分をうまく表現できず、泣き叫んだり、自分勝手な振る舞いをしたり、ルールが守れずけんかになることもありますし、食事や排泄が一人でできず失敗することもあるでしょう。そんなときは、園ではできるだけ保護者の方に状況をお伝えし、家庭の協力を得ながら、子どもたちが先生の力を借りながらも自立できるように育てていきます。

園生活を安心して過ごすことができる生活の場とするためには、時間がかかることもありますので、保護者の方と先生とが一緒に育てていく気持ちをもってください。



幼稚園・認定こども園に通う保護者の方から入園を考えるご家庭にメッセージ



- 新しいお友だちや親以外の大人との関わりに最初は不安も多いと思いますが、子どもが色々な経験をして成長していく姿は嬉しいです。私は子どもに楽しかったこと、嬉しかったこと、また悲しいことも含め園での経験が今後にも繋がる第一歩だと思っています。

- 収穫したものを園で食べたり、お持ち帰りにしてくださったりしています。子どもが家で嬉しそうに話したり食べたりしている姿を見ると親まで嬉しくなります。先生も優しく子どもはすっかり園が大好きになりました！この園に入れて良かったよねと夫婦でよく話しています。



園見学に行ってみよう！



- 実際に子どもと行って見て、過ごしてみて、子どもに合った園を選ぶのが良いと思います。子どもが楽しく登園できていたら、親も嬉しい一緒に園生活を楽しめます！

- 私は色々な園の（未就学児向けの）イベントなどに子どもと一緒に参加し、今の園の雰囲気が一番合っていると感じ、入園を決めました。きっと、お子さんに合った園が見つかると思うので（イベントや）園庭開放など、直接行ってみることをオススメします。



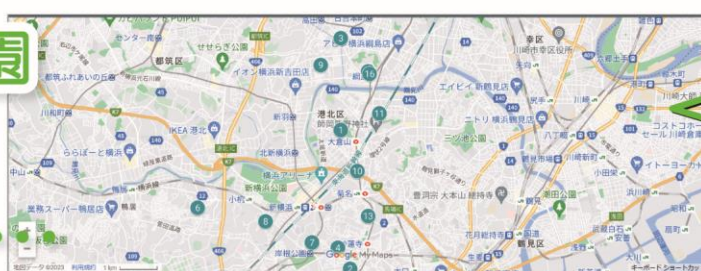
幼稚園・ 認定こども園 を探そう！



近くの幼稚園・
認定こども園を
QRコードから
見てみる！

(横浜市幼稚園協会ホームページ)

近所の
園は
どこかな？



※園名をクリックすると、園のWEBサイトへ移動します。

園名	住所	電話番号
大倉山アソビ幼稚園	横浜市港北区大倉山2-9-7	045-531-2054
大倉山幼稚園	横浜市港北区篠原台町20-1	045-433-144
桂幼稚園	横浜市港北区高田東1-24-18	045-531-3050
金港幼稚園	横浜市港北区篠原東1-12-2	045-421-7380
光明幼稚園	横浜市港北区高田西4-34-26	045-532-0020
小机幼稚園	横浜市港北区小机町256	045-471-3038
認定こども園 しのほら幼稚園	横浜市港北区篠原町1163	045-432-3506
城郷幼稚園	横浜市港北区島山町730	045-471-39127
しんよし幼稚園	横浜市港北区新吉田町5-51-28	045-417-3828
認定こども園 高木学園児童幼稚園	横浜市港北区等倉7-3-30	045-431-38180
神田白梅幼稚園	横浜市港北区神田1-19-12	045-412-2990
磯島幼稚園	横浜市港北区磯島西1-13-15	045-531-30640
伸びる会幼稚園	横浜市港北区磯島西2-13-23	045-431-38881
日吉白梅幼稚園	横浜市港北区下田町2-10-72	045-532-30317
日吉台光幼稚園	横浜市港北区日吉本町1-7-14	045-581-32189
富士見幼稚園	横浜市港北区磯島西1-12-19	045-542-2991
アリス幼稚園	横浜市港北区下田町3-16-10	045-581-36414

自宅からの
経路を
知りたいな。

googleマップ
からルート検索
ができます。

それぞれの園の
Webサイトに
飛べます！

- ・区ごとに閲覧出来ます。
- ・加盟している247園の掲載になります。

公益社団法人 横浜市幼稚園協会とは

明治4年に横浜市中区山手に幼児教育施設が誕生しました。それから今日までの間に多数の幼稚園・認定こども園が横浜市内に新設されました。

横浜市内の幼稚園・認定こども園の特徴は、すべてが私立であり、それぞれが特色ある建学の精神をもって教育を行っていることです。言い換えれば横浜に住む幼児の教育は私立幼稚園に任されているということです。その任務の重さを思い、横浜の幼児の幸せを願って、昭和36年、市内の幼稚園が自主的に設立したのが「横浜市幼稚園協会」です。現在247園が加盟し、長年にわたって、さらなる幼児教育の質の向上をはかるべく活動を行っています。

幼稚園大会



横浜の子どもたちが
健やかに成長する
ことを願い、加盟園
の教職員と保護者が
一丸となって、思いを
一つにする大会です。

その他

- ◆園長・設置者研修会 ◆教員研修会 ◆教育研究大会
- ◆特別研究委員会 ◆保育力キャリアアップ研究講座
- ◆カウンセリングマインド研究講座
- ◆幼稚園・保育園・小学校の交流をはかる研修会
- ◆新規採用教員研修会 ◆保護者の会の主催セミナー
(わくわく☆子育てセミナー)

子育て教育相談

協会では、保護者の皆様方の子育てに関する相談を
臨床心理士が電話でお受けしています。

【相談日】 第2・第4 火曜日 と 毎週 金曜日 (年末年始、祝祭日を除く)

【受付時間】 10:00~12:00 / 13:00~15:00



詳細は
こちら

ホームページから予約が
できるようになりました

予約の際に電話番号をご入力いただいた場合は
相談員からお電話しますので通話料はかかりません。

直接おかけいただいても
対応いたします。

相談専用ダイヤル ☎045-534-8837

公益社団法人 横浜市幼稚園協会